



めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問合せ
防災課地域防災係

第6分団 分団長

新美淳也さん



6分団を紹介します

私たち第6分団は西端地区のカッコいいヒーローを目指し、日々消防団活動を行っています。

皆さんには日ごろより消防団活動に対するご理解と多大なるご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

団員は16人で、皆仕事や学業と両立しながら活動にあたっており、日ごろから団員は以下の3点を念頭に置いています。

- ①市民の生命と財産を火災から守る
- ②風水害や地震などの自然災害を防除する
- ③災害を軽減する

これらを踏まえ、訓練では実際の火災現場を想定した放水訓練や水門および資機材の定期点検、そのほかにも地区のお祭りや盆踊りの警備など、多岐に渡り活動しています。

団員へのアンケート調査を行った際、「入団して良かったことは」という問いに、80%以上の経験者が「友だちができたこと」と答えています。私も20年前に団員を経験し、素晴らしい生涯の友ができました。第6分団では共に活動してくれる団員を募集しています。消防団活動は決して楽しいことばかりではなく、辛いこともあります。しかし、一歩踏み出したその先にはきっとあなたにとって素敵な出会いと体験が待っているはずです。

今後とも皆さんの厚いご支援とご協力をお願い致します。



ごみ出しのマナーを守りましょう

問合せ 環境課ごみ減量係

燃やすことのできるごみの出し方

- ごみ袋は回収日当日の8時30分までに出示しよう

8時30分から収集を始めます。

- 指定袋に入れましょう

市の指定袋に入れられたごみを収集します。

- ごみ袋はネットのなかに置きましょう

5世帯以上でまとめることができ、カラスにごみ袋を荒らされる恐れのある所にはカラス除けネットを無償貸与します。



- 生ごみはごみ袋の中央、袋の外から見えない位置に入れましょう

生ごみは袋の中央部、外から見えない位置に入れましょう。カラスにごみを荒らされにくくなります。

- 一度に多量のごみ袋を出さないでください

ごみ袋を多量に出すと回収できません。ごみが多量にある場合は分けて出していただくか、直接クリーンセンター衣浦へ持ち込んでください。

- ガムテープは使用しないでください

回収時、手に巻きつき危険です。ガムテープで口を止めてある袋は回収しません。

- 生ごみは水を切って、せん定枝や草は乾かしてから出してください

水分を多く含んでいると、収集効率が低下し、焼却時にも多くの燃料を消費します。水切りにご協力ください。

- 資源となるごみは入れないでください

硬質プラスチックやペットボトル、缶、びん、ダンボールなどの資源となるごみが入っているごみ袋は回収しません。